

Local

ミーデザイン学校 + アイデア 共同公開講座

VS

デザインのローカリティとは何か?

Global

ポーランド・グラフィックデザインの状況

Power of Locality in
Global Design

9|14 sat.

ポーランドのデザイン理論・デザイン評論の様々な流派からの代表者3人の本演説は、

ポーランド・グラフィックデザインが遂げてきた変化とその現状を総括的、多角的に描写する。

本演説は、聴衆の方々にも「ポーランドポスター学校」が誕生した背景にあった事情、決断や要因、

また、その「学校」の低迷後に起きた出来事を学ぶ機会であり、今後のポーランドのデザインに決定的な影響を与えるであろう、

現代ポーランドにおけるアイデンティティ、現代性、デザインのカタチに関するディベートを辿るチャンスでもある。

また、ポーランドにおける西ヨーロッパやアメリカのエスティーブ、そしてローカリティを持った広告の位置づけについても紹介。

さらに本演説では、デザインに関する決断はどのような社会的影響を与えるのか、

デザインは誰を代表し、または疎外しているのか、という問題にも触れる。

中央ヨーロッパにおける、公開議論や激しい政治社会的な変化とグラフィックデザインとの関係について、

わかりやすく説明する3つの演説を通して、デザインのローカリティに関する考察が深まることを願う。

本演説は、背景の詳しい記述や、様々な作品に対する突っ込んだ分析によって徐々に統括されつつあるグローバル文化、

そこにおけるデザインの位置づけについての問いかけに答える試みである。

ポーランド広報文化センターの後援により「アイデア」誌とミーデザイン学校の共同公開講座として開催します。

2013年9月14日 [土]

青山ブックセンター本店内
青山ブックスクール

16:30-19:30 [開場16:15]

定員120名 / 入場無料 / 事前予約不要

お問い合わせ

ミーデザイン学校事務局

Tel.03-5350-2801

モデレーター

Kiyonori Muroga

室賀清徳

東京大学文学部美学芸術学専修課程卒。デザイン誌「アイデア」編集長。同誌をはじめ、デザイン関連書の編集に携わる。「アイデア」誌は、古今東西のデザインの思潮を毎月特集し、その批評性と美しい誌面で、同時代における最高のデザイン誌との評価を得ている。

パネリスト

Piotr Rypson

ピョートル・リブソン

芸術批評家、文学及び視覚文化歴史的研究家、評論家、電子工学教育エキスパート。著書「ガチョウでない」"ポーランドグラフィックデザイン1919-1949"その他150以上の論文、エッセイ、テキスト、講評がポーランド国内外で発行。現在、ワルシャワ国立博物館科学部門の副部長。クアデッシュ・ペイベルの展示会を準備、40年代ポーランドグラフィックデザインについて執筆中。

パネリスト

Agata Nowotny

アガタ・ノヴォトニ

社会学者、リサーチャー、デザイン訴訟コンサルタント。デザイン社会学、物質文化、ニューテクノロジーに関与。社会イノベーションプロセスのプロジェクトに関心を持つ。現代的な社会文化的トレンドの分析を行っている。ポズナン高等デザイン学校 School of Form の社会学専攻部の学部長。ワルシャワ大学社会学研究所とワルシャワ美術大学パターンデザイン学科でも講義を持つ。学際的な「隠れたデザイン」グループの創設者の一人でプログラマ長。

パネリスト

Agata Szydłowska

アガタ・シドオフスカ

美術史家、批評家、デザインクラトル。全ポーランドデザイン雑誌「2+3D」の編集委員。ポズナン高等デザイン学校 School of Form でデザイン史とレイアウトの講義を担当。著書に「10億の周りの事、アガタ・シドオフスカ、ポーランドのデザイナーと語る」(2013)。現在ポーランドレイアウト文化史を執筆中。デザイン批評研究室の創設者の一人。デザインの社会的政治的背景に興味を持つ。

パネリスト

Koh Chihara

千原航

71年東京生まれ。96年多摩美術大学美術学部二部卒。(株)立花ハジメデザインを経て98年独立。03年個展「BIHCA-BICHA EXHIBITION」(GASSHOP)。05年朗文堂タイポグラフィスクール「新宿私塾」第六期修了。07年より多摩美術大学造形表現学部非常勤講師。09年合同展「1979」(Turntable Lab Tokyo)共同企画。10年合同展「Handmade/Readymade」(PASS THE BATON)企画。グラフィックデザインを軸に幅広い制作を手がける。

ミーデザイン学校は、週末を利用してデザインの実技と理念を学習できる、社会人のための学校です。講義は、第一線で活躍するデザイナー陣と、研究者、編集者、技術者など、関連諸領域のエキスパートとのコラボレーションによって進められ、多様な知とデザインが有機的に結びつくことを目指しています。

MeMe
Design School 2013
www.memedesign.org

アイデア

ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

DESIGN
CRITI

SCHOOL OF
FORM

Adam Mickiewicz Institute
CULTURE PL